



グローバル・アライア  
ンスで変化する世界  
に対応





## 絶えず変化する世界

世界は劇的な変化を遂げつつあります。ビジネスの進め方にも、これまででない、革新的な手法が求められています。世界は情報で満ちあふれていますが、この豊富な情報リソースは、人々の仕事および生活スタイルをまったく新しい（そして、おそらくは意外な）方法で根底から変化させる鍵を握っています。

こうした環境を生き抜くには、「より良く、より速く、より俊敏かつ柔軟に」という、最近の事業戦略でおなじみのアプローチでは不十分です。必要なのは「これまででない」、「革新的な」マインドセット、つまり新たな世界観と、ビジネスとテクノロジーに関する新たな考え方で。たとえば、それはどのようなメリットをもたらしてくれるのか、どんな方法でビジネスを推進してくれるのかということです。

仕事の効率や収益性ばかりでなく「インテリジェンス」を高めるには、スタッフや知的財産から、資金、組織の能力、エネルギーなどに至るまで、利用できるリソースはすべて利用する必要があります。障壁を解消し、前例のない新たな方法で情報、組織、スタッフ、アイデアをまとめるには、テクノロジーが必要不可欠です。

こうした変化を続ける環境を積極的にリードする役割の基礎は、IBM と Cisco の長年のグローバル・アライアンスによって形成されています。これにより、両社がコミュニケーションとコラボレーションの次世代ソリューションを開発し、継続的な影響力を発揮することができます。お客様のビジネスの仕組みを変化させる取り組みを IBM と Cisco がサポートいたします。

*「Cisco の戦略は変化、つまり弊社のお客様に影響する市場の変化をベースにしたシナリオを採用しています。」*

– Cisco Systems 会長兼 CEO、  
John Chambers

*「世界は今後もさらに小さくフラットになり、インテリジェンスを高めていきます。問題はそれにどう対処するかです。」*

– Sam Palmisano  
chairman and CEO, IBM

接続技術の普及やいつでもどこでも利用可能な情報が、すでにクリティカル・マス、つまり転換点に達しています。したがって、今やビジネスの革新が実現可能になっています。たとえば、現在ではネットワーク越しに容易かつシームレスなやりとりが可能になっているため、「職場」の概念が大きく変化しています。高度なテクノロジーにより実現される、真のコラボレーティブなチームワークと個人間の緊密なやりとりにより、前例がないほど高い生産性が実現する時代が到来しています。IBM と Cisco は、こうしたエキサイティングな変革をご提供いたします。



## 独自の協力関係

IBM と Cisco の幅広く緊密な協力関係は、製品開発の枠をはるかに越え、ソリューションの共同提供や経営陣同士の関係にまで及んでいます。これにより、緊密に組み合わせられた統合ビジネス・ソリューションの提供が可能になり、お互いのお客様から見てもメリットが損なわれることはありません。IBM と Cisco の能力を組み合わせ、お客様が抱えている課題に関する理解を共有することで、お客様のニーズにより優れたソリューションで対処することが可能となります。

IBM と Cisco のアライアンスの大きな特徴は、両社がそれぞれ独自の強みを持ち、相互に補完していることです。IBM は、ビジネスのプロセスと変革、テクノロジーの活用、導入、運用サービスの分野で業界に特化した、重要な専門技術の提供に貢献しています。ネットワークと IP 通信分野における Cisco のリーダーシップが、こうした IBM の専門技術と組み合わせ、ワークスペースおよびワークスタイルの変革を推進するソリューションを実現しています。

IBM と Cisco が注力するターゲットは、これまでと同様、今後も、お客様の企業がより迅速かつ効果的に接続され、コミュニケーションを取り、重要なデータを共有する作業をサポートすることです。それにより、社内全体で高度なコラボレーションを実現します。両社のソリューション戦略では、包括的な基本サービスと製品、業界に特化したサービス、最先端のビジネス・ソリューションを採用しています。これらのソリューションを通じて、お客様の組織の運営をさらに円滑で透過的かつ統合的なものにする作業をサポートいたします。

## ユニファイド・コミュニケーション & コラボレーション: ワークスタイルの変革

お客様のリソースを有効活用し、競争力を高める戦略で鍵となるのが、ユニファイド・コミュニケーション & コラボレーションです。これは、音声、データ、ビデオの各ソリューションを統合したものであり、コラボレーションの強化、生産性の向上、ビジネスの意思決定の加速を実現するように設計されています。オープン・スタンダードをベースにしたこれらのソリューションは、IT とネットワークに対するこれまでの投資を利用して、IT インフラストラクチャーの価値を最大限に高めるように設計されています。

ユニファイド・コミュニケーション & コラボレーションは、IBM と Cisco ® のテクノロジーと専門技術を盛り込んだ 3 つの主要ソリューションから構成されており、両社が強みを発揮する専門技術を活用しています。

### リアルタイム・コラボレーション

真のコラボレーションを実現するには、従業員が自らのニーズと好む手段により、いつでも、どこでも、複数の通信デバイスを使用して互いにコンタクトできるようにする必要があります。IBM と Cisco のリアルタイム・コラボレーション・ソリューションでは、個人やグループがネットワーク上で互いのプレゼンスを検知できるため、ミーティング、コミュニケーション、コラボレーションをシームレスかつ瞬時に行うことが容易になっています。音声、ビデオ、データ、さらには有線と無線の通信方式に総合的に対応することで、複数のチャネルを介して複数のワークスペースでコラボレーションを行う新たな手法を実現しています。

### コンタクト・センター

分散した多数の顧客サービス・リソースに単一の顧客窓口を通じてアクセスするバーチャル・コンタクト・センターという概念は、目新しいものではありません。しかし、これらのリソースを仮想化して統合し、高度の顧客サービスを維持するという目標の達成は、これまで困難でした。この課題に対処するのが、IP コンタクト・センターです。IP コンタクト・センターでは、所在を問わず、ブロードバンドで IP 接続できるエージェントと、必要な社内リソースや同僚全員との間をシームレスに接続することが可能になります。また、音声によるセルフサービスや構内キオスク・テクノロジーといったユーザーへのサービス・レベルを強化しながら、収益を増加させる新しい機能も備えています。

### Cisco TelePresenceが実現する次世代のビデオ・コミュニケーション

企業は、経費を削減しながら効率を改善し、顧客との関係を強化する方法を絶えず模索してきました。しかし、今日の市場では、ビジネス上の新たな至上命令が急速に関心を引き付けています。あらゆる規模の企業が「グリーン」標準への準拠に注力しているのです。環境への責任は、企業のブランド価値と競争力を向上させるビジネス上の差別化要因になっています。

IBM と Cisco は、ビデオによるコミュニケーションとコラボレーションを実現することで、こうした要件に対応します。このソリューションは非常に有効性が高いため、出張に代わる有力な選択肢になる可能性を持っています。Cisco TelePresence™ による会議、超高精細ビデオ (実物大の没入型 1,080p イメージ)、高音質オーディオ、対話型エレメントを IBM の優れたビデオ・コミュニケーション・構築支援サービスと組み合わせることで、既存のブロードバンド IP ネットワークの種類を問わず、あたかも同じ部屋で会議をしているかのような体験を実現できます。

「Cisco のユニファイド・コミュニケーションを選択した大きな理由は、IBM と Cisco が提携していることです。当社の IBM Lotus® ソリューションと Cisco のユニファイド・コミュニケーションを統合することにより、コラボレーションが強化され、時間を節約できます。」

– Meeting Consultants 社社長、Casey Cote 氏



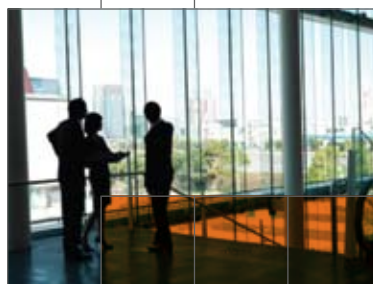
## データセンター：基盤の強化

ユニファイド・コミュニケーション & コラボレーションのような強力なビジネス・ソリューションは、IT に密接に関連しています。堅固なネットワークの基盤がないと、ワークスタイルを変革する高度な機能を完全には実現できません。データセンター環境は、IBM と Cisco が相互に補完する強みを最大活用できるきわめて重要な分野です。データセンター・ソリューションは IBM が従来より強みとする分野であり、ネットワーク (とネットワーク上で稼働するサービス) は Cisco のコア・コンピテンシーです。

両社のサービスと製品を組み合わせることにより、相互運用性と統合を通じてデータセンターの利用状況、応答時間、アクセス、回復性を最適化します。IBM と Cisco は、ベスト・プラクティスと堅牢なソリューションをベースにしたロードマップを提示し、回復性とセキュリティに優れたオープンなソリューションを長期にわたって提供いたします。

## お客様の課題解決に向け、 IBM と Cisco が協力

お客様のニーズはそれぞれ異なるため、汎用ソリューションを提供するアプローチでは不十分で、業界を熟知したテクノロジー・パートナーの必要性をIBM と Cisco は認識しています。協業の実績を持ち、互いのソリューションを熟知したパートナーが必要です。1+1 が 2 を超えるような高い価値を、IBM と Cisco はご提供します。



### Dexia Technology Services 社

欧州の大手銀行に IT サービスを提供している Dexia は、データセンターを集約する必要に迫られていました。そこで、IBM と Cisco は 4 箇所のデータセンターを 2 箇所に統合し、大容量かつ高可用性を持つオプティカル・ネットワークで接続しました。データセンターはミッション・クリティカルなものであるため、サービスをいっさい中断することなく統合作業を完了することが必要不可欠でした。

「IBM Global Technology Services のサポートのおかげで、当社は信頼性の高い柔軟なオプティカル・ネットワークを導入することができました。これが、維持すべきデータセンターの数を削減しながら、総合的な価値と能力を高める鍵となりました。」

– Dexia Technology Services 社

### 銀行

金融業界で数十年の経験を持つ IBM と Cisco は、接続と通信に関する方針決定時に必要になる知見を有しています。Global Fortune 500 社に名を連ねる銀行は、すべて IBM のお客様であり、IBM と Cisco はいずれも数百行に上る全世界の金融機関と共同作業を行い、最適なネットワーク戦略を策定した経験があります。これらの金融機関は、両社と共同作業を行い、堅牢な統合型マルチチャネル・ソリューションを導入することで、高度なシステム・パフォーマンス、信頼性、可用性、拡張性を実現し、銀行での顧客価値を改善することに成功しました。

## 小売

小売業界は、良質なマルチチャネルの顧客価値の提供をますます強化していますが、これには実店舗、売店、Web サイト、インテリジェントな倉庫兼配送センターが対象となり、すべてがシームレスに相互接続する必要があります。ネットワーク全体を通じて情報共有と円滑なコミュニケーションを確保することが必要不可欠ですが、IBM と Cisco は長年の経験と強力なテクノロジーによりこれをサポートしています。

### Mediamarket 社

IBM と Cisco は、Cisco のユニファイド・コミュニケーションと Siebel の CRM を組み合わせたソリューションの設計、統合、導入を共同で実施しました。このプロジェクトでは、エレクトロニクスと家電を扱うイタリアの小売業者である Mediamarket 社の POS システム、バーチャル・コンタクト・センター、オンライン・ショッピング・チャンネルを一元化しています。シームレスなやりとりを行うプラットフォームを構築することで、Mediamarket 社は顧客サービスをいっそう円滑にしながら、満足度を向上させています。

「当社は急成長を遂げたため、個別のカスタム・アプローチには限界があることが明らかになりました。現在、当社のコンタクト・センターでは年間約 150 万件の電話を処理していますので、エンタープライズ・クラスの拡張性を備えたソリューションとイタリアで入手できる最高の技術的スキルが必要でした。つまり、Cisco と IBM です。」

– Mediamarket 社 CIO、Maurizio Besurga 氏

## 製造業と自動車製造業

IBM と Cisco が注力しているコミュニケーションとコラボレーションのノウハウを利用することにより、需要に迅速に対応する対する優れたサプライチェーン全体にわたってセキュアな情報共有と可視性が実現します。柔軟性が高まると同時に、知的財産とネットワーク資産のセキュリティが確保されます。IBM と Cisco は、メーカーが開発サイクルを短縮し、製品の製造と販売をスピードアップしながら、品質向上と対応の迅速化を通じて顧客定着率を向上することを支援します。

## エネルギーと公益事業

エネルギー業界は、多くの課題に直面しています。たとえば、インフラストラクチャーの老朽化、需要の急増、投資資金の不足などです。電力会社は、こうした要因を受けて、送電効率を高める先進テクノロジーを必要としています。このイノベーションを最前線でリードしている IBM と Cisco は、老朽化しつつある資産の管理をサポートすることで、スマート・グリッドを現実のものにし、送電網の状態を詳細に確認できるよう支援します。

## 公共部門

公共部門では、IBM と Cisco の経験とテクノロジーを利用することで、教育、行政、医療の各分野が改善されています。こうした分野のリーダーは、新たな運営モデルの開発にあたり、IBM と Cisco のサポートを受けています。これらの運営モデルにより、良質な教育費用が低下するため教育が受けやすくなり、官公庁の業務効率と信頼性が向上し、医療サービスの提供が効率化します。たとえば、行政機関は両社と契約を結び、官庁内の標準運用プロセスを維持しつつ、有事の際の備えと管理を行うために、官庁間の協力体制とシステム相互運用性を完全に保証できるソリューションを開発しています。これらのソリューションを拡張することで、ビル内、地域、都市、国境付近にいる人々や交通システムの利用客も保護することができます。

### ホルスホルム市 (デンマーク)

IBM と Cisco は、ユニファイド IP テレフォニー・ソリューションを導入することで、40 箇所以上の市内の施設をすべて接続しました。これにより、ファイバー・ベースの大規模なテレフォニー / データ・ネットワークが実現し、生産性が向上したうえに、コストの低下を実現することができました。

「テクノロジーを変更するときに、長い時間をかけて真剣に検討する必要があるのは明らかです。しかし、IP テクノロジーは成熟度が高く、IBM は Cisco のテレフォニー・ソリューションの導入に関する経験が豊富ですので、このソリューションが当市に最適だと確信しました。」

– ホルスホルム市 IT 管理担当、Michael Voel Jensen 氏

## 将来の課題に向けた準備をサポート

今後ビジネスで成功を取るには、仕事の進め方、消費の仕方、互いにコミュニケーションをとる方法を根本的に変える必要があることに疑いの余地はありません。われわれが望む好ましい方向への変化を実現するには、一致協力した活動ばかりでなく、投資を行い、自らができること、さらには成し遂げなければならないことをしっかり認識することが必要になります。

IBM と Cisco は、こうしたグローバル・レベルの一大変革に重要な役割を担い、官公庁、民間企業、公共団体、システム、インフラストラクチャー、情報、そして最も重要な、人々を相互に接続するテクノロジーの基盤を構築します。IBM と Cisco のアライアンスは、明晰なビジョン、市場に関する知識、プロジェクトを完遂する安定性を備えています。この能力を強化しているのが、長年にわたって培った業界経験と全世界をカバーする有能なプロフェッショナル・チームです。IBM と Cisco は、急速な変化を続ける今日の環境でお客様のビジネスが成功するようサポートいたします。

### 製品、サービスなどの詳細については

コミュニケーション、コラボレーション、新たな課題への対処に関する IBM と Cisco のサポート内容の詳細については、IBM または Cisco の担当者にお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

[ibm.com/cisco](http://ibm.com/cisco)

[cisco.com/go/ibm](http://cisco.com/go/ibm)



シスコシステムズ合同会社  
〒107-6227  
東京都港区赤坂9-7-1  
ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp/>



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号  
<http://www.ibm.com/jp/>

© Copyright IBM Corporation 2009. Produced in the United States of America. 06-09. All Rights Reserved.

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://ibm.com) は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。これらおよびその他の IBM の商標である用語は、本文書で最初に登場したときに商標記号 (® または ™) を付し、本文書が公開された時点で、IBM の米国における登録商標または慣習法上の商標であることを示します。そのような商標はその他の国においても登録商標または慣習法上の商標である場合があります。IBM の現在の商標リストは、Web 上の次のアドレスから入手できます。  
<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml>

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。本資料に記載の製品、およびサービスが必ずしもその他の国においても提供されるとは限りません。Cisco ロゴと Cisco TelePresence は商標であり、Cisco と Cisco Systems は Cisco Systems, Inc. とその関連会社の米国およびその他の国における商標です。

本文書や Web サイトで言及するその他すべての商標は、それぞれ各社に属するものです。「パートナー」という語は、Cisco と他の会社との間のパートナー関係を指すものではありません。